

トピック4 協力して作ろう

—生活を良くするアプリ、問題を解決するアプリー



I. 目標

オンラインで、
クラスメイトと
協力しながら、

1. プロジェクトを進めることができる。
2. ある問題について、ポイントを整理して説明できる。
3. その問題を解決するアプリを考え、企画書を作ることができる。
4. アプリの企画についてインタビューし、意見を聞いて直すことができる。
5. 目的、特徴、使い方などについて、スライドを使って発表できる。

2. 予定

日	内容
	<ul style="list-style-type: none">・目標と予定の確認・考えましょう（ウォームアップ）・学習【ことば】・どんなアプリを作るか考え始めましょう・クラスで作るアプリを決めて、グループを作りましょう・評価を確認しましょう・企画書を作りましょう・PA①の準備と練習
	<ul style="list-style-type: none">・PA①: 企画案について相談してアドバイスをもらう
	<ul style="list-style-type: none">・企画書を直しましょう・PA②の準備と練習
	<ul style="list-style-type: none">・PA②: 発表
	<ul style="list-style-type: none">・ふりかえり

3. 考えましょう

1.あなたが、よく使うアプリはありますか。どんなアプリですか。自分のスマートフォンを見ながら、考えてください。



2.次のアプリを知っていますか。知らなかつたら、どんなアプリか名前から考えてみましょう。
あなたは、これと同じようなアプリを使っていますか。



3.「TABETE」は、どんなアプリだと思いますか。

①アイコンから考えてみましょう。



②その後で、^{けんさく}してウェブサイトを見てみましょう。

4. ことば

街で、テレビ番組のインタビュアーが、いろいろな人にインタビューしています。()に合うことばを下から選んでください。終わったら、聞いてみましょう。

あなたの生活や仕事、勉強などに役立っているアプリを教えてください。



私は辞書アプリをよく使っています。これがあれば、もう、重くて厚い辞書を何冊も持たなくともいいんです。(①)の辞書はもちろん、有料のものもいくつか持っています。内容と機能がいい辞書アプリなら、ちょっと高くても、買う価値があると思います。

何と言ってもGoogleなどの(②)アプリです。昔は、インターネットがなかったので、何か調べたくても、図書館に行ったり、電話をかけて聞いたりしなければなりませんでしたが、今は何でもネットで調べられます。これがなかったら、もう生活できないと思います。

地図アプリをよく使っています。私はよく道に迷ってしまうのですが、地図アプリがあれば、今いる場所もわかるし、目的地までの道も教えてくれるし、どこにでも迷わず行くことができます。(③)を大きくしたり小さくしたりできる点でも、紙の地図より便利です。

「Uber Eats」です。最近は、リモートワークでずっと家にいるのですが、「Uber Eats」があれば、家でもすぐにおいしいものが食べられます。以前は、店の(④)が少なかったのですが、注文できる店がどんどん増えて、今はいろいろな料理が食べられるようになりました。

「Duolingo」という外国語を勉強するためのアプリです。世界のいろいろな言語を勉強することができます。正解すればレベルが上がっていくので、ゲームのように勉強ができます。とても人気があって、世界中に多くの(⑤)がいるそうです。無料で使えますが、有料のプランにすると(⑥)が出ません。

「メルカリ」という、フリマアプリ、つまりフリーマーケットのアプリです。もう使わなくなったものを他の人に売ることができます。「メルカリ」は、とても使いやすく、説明の通りに進んでいけば、要らなくなったものを簡単に売ったり買ったりできます。フリマアプリは、まだ使えるものを捨てないで、必要な人が使えるようにするという点で、持続的な社会を作ることに(⑦)していると思います。

- | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|---------|-------|------|
| a.画面、 | b.選択肢、 | c.検索、 | d.貢献、 | e.ユーザー、 | f.無料、 | g.広告 |
|-------|--------|-------|-------|---------|-------|------|

5. 作りたいアプリを考えましょう

1. 次の①～⑤について、まず一人考えて、その後でグループで共有して話し合いましょう。

① あなたの生活や勉強、仕事、趣味などに役立っているアプリを1つあげてください。それは、どんなアプリですか。それを使って何ができますか（できるだけ、他の人が知らないと思うアプリがいいです）。

例) Google Earth: 世界中の場所の写真が3Dで見られます。今は、本当の旅行があまりできませんが、このアプリがあれば、バーチャル旅行を好きなだけ楽しむことができます。

② 社会問題の解決に役立っていると思うアプリを1つあげてください。どんな問題の解決に役立っていますか（できるだけ、他の人が知らないと思うアプリがいいです）。

例) TABETE: レストランであまつた料理が安くテイクアウトできるアプリです。まだ食べられる食品を捨ててしまう、という食品ロスの問題の解決に役立っています。

③ あなたの生活中で、今、不便だと思うこと、もっと便利になったらいいと思うことがありますか。できるだけたくさん考えてください。

④ あなたが解決したい社会問題がありますか。できるだけたくさん考えてください。

⑤ 上の③と④（不便なこと、社会問題）の中で、アプリで解決できそうなことはありますか。

2. ここまで考えたことをふり返って、どんなアプリを作りたいか、まず自分で1つ考えてください。アプリを考えるときのポイントは次の3点とします。

●アプリを考えるときのポイント

- a. アプリの価値: そのアプリによって、日常生活の問題や不便さ、社会問題が解決できる。人々の役に立つ。
- b. 現実的: 今の技術で作れそう。
- c. オリジナリティ: 同じようなアプリが他にない。または、ある場合、そのアプリよりも良い。

私のアプリのアイデア

①そのアプリで解決したい問題や不便なことは何ですか。

例: 食品ロスの問題を解決したい。まだ食べられるものがたくさん捨てられている。

②そのアプリで、具体的にどのように解決しますか。

例: レストランであまつた料理を近くにいる人に知らせて、食べたい人に安く売る。

③同じようなアプリ(またはアプリ以外のシステム)がないか、インターネットで検索してみましょう(日本語以外の言語を使ってもいいです)。

6. クラスで作るアプリとグループを作りましょう

1. 「私のアプリのアイデア」をクラスで共有して、クラスで作るアプリをいくつか決めましょう。自分のアプリの案を簡単に説明してください。選ぶポイントは、前のページの「アプリを考えるときのポイント」の3点です。

2. クラスで作るアプリが決まったら、それぞれのアプリを担当するグループのメンバーを決めましょう。

7. 評価を確認しましょう

PAのあとで、この評価表を使って、自己評価(self-evaluation)をします。教師も、これを使って評価します。PAの前に、目標と評価を確認しておきましょう。

今回のPAは、個人評価(12点)とグループ評価(24点)の合計で評価します。グループ評価では、グループのメンバーは同じ評価になります。協力して、がんばりましょう!



●個人評価(12点)

PA①(企画案について相談してアドバイスをもらう)

	とてもよくできた。すごい! (12点)	できた!OK (8点)	あまりできなかった。 次はがんばろう。 (4点)
企画案についてピジターに積極的に相談できる。	企画案を説明したり、たくさん質問をしたり、アドバイスを求めたりして、積極的に相談した。	まあまあ積極的に相談した。	せっかくきてあまり積極的に相談しなかった。

●グループ評価(24点)

PA②(発表)

アプリについて	とてもよく できた。 すごい! (3点)	できた! OK (2点)	あまりで きなかっ た。次は がんば ろう (1点)
人々の生活や社会の役に立つか 現実的か(今の技術で作れそうか。続ける方法など)※ア プリを作るお金については考えなくていいです。			
似ているアプリ(もの)とちがう点があるか。それより良いア プリといえるか。			
多くのユーザーに使ってもらえそうか。 (使いやすいか。わかりやすいか。今のユーザーが、もっと使 いたくなるような工夫があるか。アプリを多くの人に知っても らうための工夫があるか、など)			

発表のパフォーマンス	とてもよく できた。す ごい! (3点)	できた。 OK (2点)	あまりで きなかっ た。次は がんば ろう (1点)
アプリについて、詳しく、わかりやすく説明できる(スライドも 含む)。			
アプリが解決する社会問題や生活の不便さなどについて、 詳しく説明できる。			
発表の表現を使って、正しい日本語で発表できる。			
質問に、詳しく答えることができる。			

8. 企画書を作りましょう

企画書とは、そのプロジェクトの計画を簡単にまとめたものです。アプリのことがわかるように、だいたい、次のような内容を入れましょう（まったく同じでなくともいいです。）

企画書

1. アプリの名前
2. どんなアプリか
3. そのアプリで、どんな社会問題や不便さが解^{かい}決^{けつ}されるか
4. 主^{おも}なターゲット
5. 似^にているアプリとのちがい
6. 課題（弱いところ、問題点）
7. 使い方
8. 使い方のイメージ

●企画書の例

1. アプリの名前

TABETE（「食べて」と「食べ手」を表す）

2. どんなアプリか

レストランで料理があまつたときに、アプリに出すと、ユーザーは、その料理をテイクアウトで安く買うことができます。フードシェアリングのアプリです。

3. そのアプリで、どんな社会問題や不便さが解決されるか

①食品ロスを減らすことができます。政府広報オンライン「<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/4.html>」によると、日本の食品ロスの量は年間600万トンで、日本の人口1人当たりの食品ロスの量は年間約47キログラムです。日本では、このように、多くの食品を捨てている一方で、7人に1人の子どもが貧困によって、食事に困っているそうです。

食品ロスが引き起こす、さまざまな影響や問題もあります。まず、多くのごみを処理するためには、高いコストがかかっています。そして、ごみを燃やすことで、CO₂が多く出て、環境にも悪い影響が出ます。食品ロスを減らすことは、社会にとって大きな課題です。

②現在、新型コロナウィルスの影響で、レストランや居酒屋などの飲食店は、客が減ったり、営業時間を短くしたりして、営業が続けられなくなり、閉店する店が増えています。TABETEは、飲食店の無駄を減らし、売り上げを増やすことに貢献します。また、アプリを利用したユーザーがそのレストランを知ることで、新しい客を増やすことにもつながります。

③現在、リモートワークやオンライン授業のために、家にいる人が増えています。TABETEは、毎日食事を作る人の負担を減らします。また、おいしいレストランの食事を安く食べられることは、人々の生活を豊かにします。

4. 主なターゲット

おいしいものを安く食べたいと思っている人。食品ロスについて、問題意識のある人。

5. 似ているアプリとのちがい

あまつた食材を安く売るアプリはたくさんありますが、TABETEは、あまつた「料理」を安く売ります。

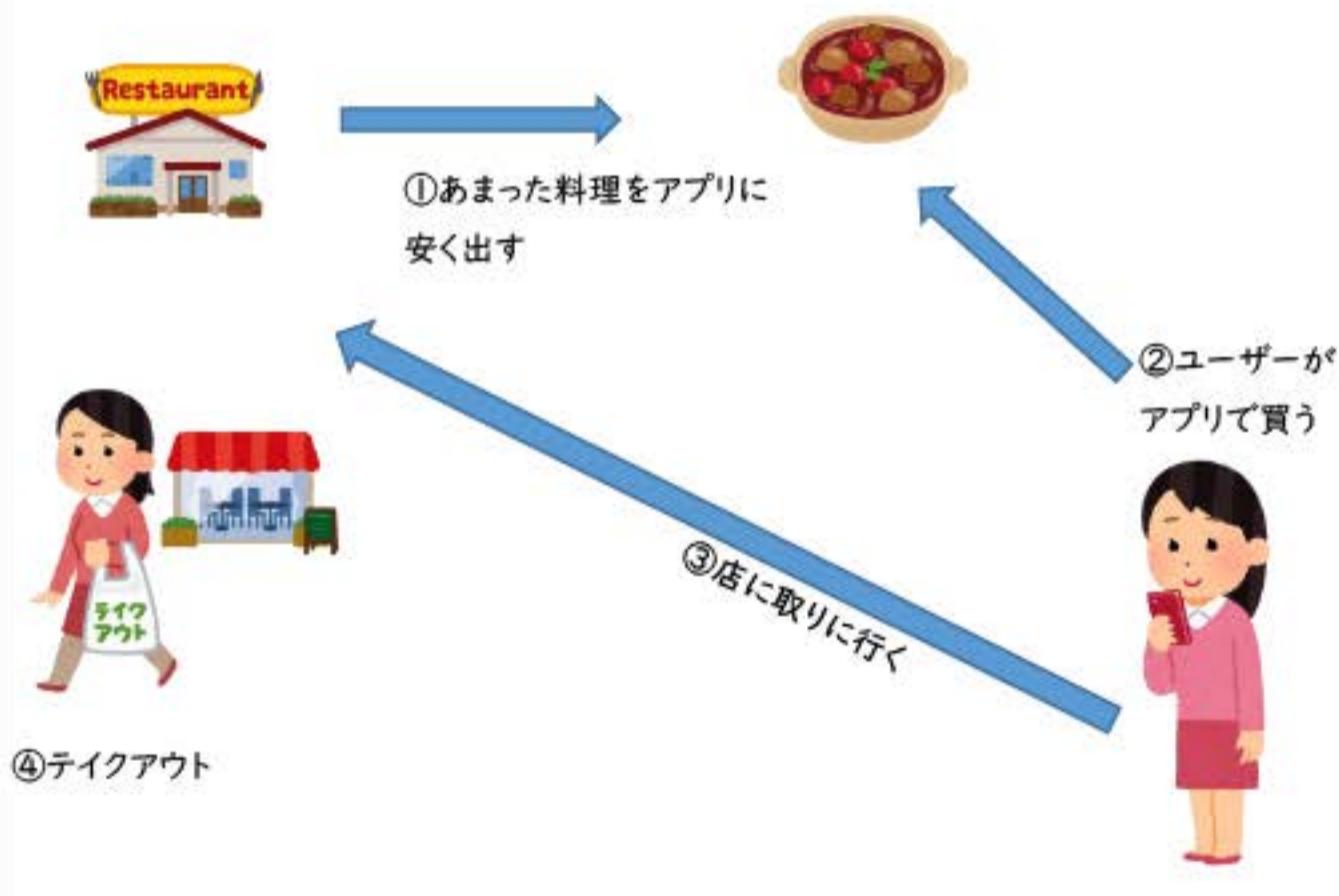
6. 課題

レストランにとっては、料理を捨てるよりはいいですが、安く売ることで利益が減ります。また、アプリの会社に払う手数料もかかります。(でも、TABETEによって、新しいお客様が増えるかもしれません)

7. 使い方

- 飲食店は、アプリに登録します。
- 予約のキャンセルがあったり、天気が悪くて客が少なかったりした日などに、食材や料理があつたら、アプリに情報を出します。
- ユーザーは、アプリで自分が食べたい料理を見つけたら、買います。アプリで払うことができます。
- ユーザーは、決められた時間に、レストランに料理を取りに行きます。

8. 使い方のイメージ



9. PA①の準備と練習（企画案について相談してアドバイスをもらう）

もっといいアプリにするために、ビジターに企画について相談して、アドバイスをもらいましょう。



●アドバイスをもらうポイントの例

- ・アプリが人々の生活や社会の役に立つと思うか。
- ・実際にできそうか。現実的か（今の技術で作れそうか。続ける方法など）。
 - ※アプリを作るお金のことは考えなくていいです。
- ・似ているアプリ（もの）がないか。ある場合、何がちがうか。それよりもよいアプリと言えるか。
- ・使いやすいか、わかりやすいか。
- ・このアプリを使いたいと思うか。
- ・自分たちが気がついていない問題はないか。
- ・「アプリの課題（弱いところ、問題点）」について、それを解決するいい案がないか。

- 自分たちのアプリに関係があることも、具体的に質問してみましょう。

レストランで、よくテイクアウト
をしますか。

テイクアウトをするとき、どんなポイ
ントで店を選びますか。

食品ロスを減らすために、気をつ
けていることがありますか。

リモートワークやオンライン授業で
家にいるとき、食事はどうしていま
すか。

- そうだん相談したいことをグループでまとめておきましょう。

これは、発表ではありません。相談してアドバイスをもらう時間がたくさん取れるように、アプリの説明は簡潔にしましょう。かんけつ きかくしょ企画書(2ページくらい)を画面共有して、ポイントをわかりやすく説明してください。

*質問の準備ができたら、グループで、アプリの説明と相談の練習をします。短い時間でアプリの説明ができるようによく練習しましょう。

★さあ、次の授業はPAです！ 緊張しないで話せるように、よく練習しておきましょう。

オンラインのヒント④ あいづちができないとき

オンラインでは、あいづちのタイミングがむずかしいことがあります。また、ミュートのときは、あいづちができません。話している人は、相手のあいづちが聞こないと、自分の声が聞こえているかどうか心配になることがあります。

聞いている人は、うなずいたり、微笑んだり、拍手をしたり、アイコンを使ったりして、「あなたの話を聞いていますよ」ということを伝えましょう。



10. 企画書を直しましょう

1. ビジターから、どんなアドバイスやアイデアをもらいましたか。クラスで共有しましょう。

2. グループで、企画書を直しましょう。

- ・もらったアドバイスを全部取り入れる必要はありません。どのアドバイスを取り入れるか、自分たちでよく考えましょう。
- ・もらったアドバイス以外にも、ビジターと話しているうちに、考えが変わったり、他のいいアイデアが浮かんだりしたかもしれません。それも含めて、もう一度、自分たちのアプリについて考え方直して、企画書を直しましょう。



II. PA②の準備と練習（発表）

1. スライドを作りましょう。

スライドの構成は、企画書とだいたい同じでいいです。

●スライドの構成の例（まったく同じでなくてもいいです。アプリによって、わかりやすい構成を考えてください）

1. アプリの名前
2. アプリの概要（どんなアプリか、簡単な説明）
3. 主なターゲット
4. 解決される問題（そのアプリで、どんな社会問題や不便さが解決されるか詳しく説明する）
5. 似ているアプリやものとのちがい、それよりもよい点
6. 課題（弱いところ、問題点）
7. 使い方（具体的な使い方がわかるように、画面のイメージを入れましょう）
8. イメージ 上の「使い方」に画面のイメージを入れたので、ここでは必要ありません。
9. 宣伝：最後に、アプリの魅力（良いところ）を宣伝しましょう。

スライドのポイント

- ・スライドの表現は簡潔に！ 口頭で詳しく説明しましょう。
 - ・スライドは「読む」ものではなく、「見る」もの！
 - ・スライドを見ただけで、だいたいの内容がわかるように！
- わかりやすいスライドとわかりにくいスライドの例は、トピック2の「10. PA②（発表）の準備」を見てください。

2 発表の練習をしましょう。

●発表の時間

- ・15分ぐらい(発表)+10分ぐらい(質問、コメント)

●発表の**分担**を決めて、練習しましょう。

●発表でよく使う表現の例とヒント(まったく同じでなくいいです)。

・みなさん、こんにちは。(自分たちの名前を言う)。今日は、私たちが考えた新しいアプリについて発表します。

・こちらが、今日の「ないよう」です。

最初に、全体の構成を見せましょう。

・みなさんは、毎日、どのくらい食べ物を捨てていますか?

・毎日、地球上で、どのくらいの食べ物が捨てられているか、ご存知ですか?

・では、さっそく、アプリを紹介します。

インタラクティブになるように、ときどき、質問を入れるといいです。

・まず、アプリの名前は～です。この名前は～

・次に、～についてご説明します。

名前について説明しましょう(意味、理由など)。

・こちらをご覧ください。

「課題」をあげるだけでなく、その課題について、どのように考えているか、伝えましょう。

・次は、このアプリの課題です。

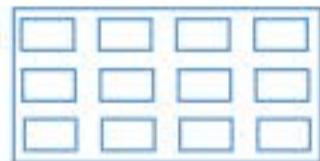
・この「課題」について、私たちは、～と考えています。

・最後に～

アプリのいい点を宣伝しましょう。

・私たちの発表は以上です。どうもありがとうございました。質問やコメントをお願いします。

(終わったら、スライドを全部見せると、質問する人がわかりやすいです)



・(質問をもらったら)ご質問、ありがとうございます。

★さあ、次の授業はPAです! 緊張しないで話せるように、よく練習しておきましょう。

12. ふり返り

あなたの名前：

アプリの名前：

1. 発表はどうでしたか。クラスで感想を共有しましょう。
2. PA1(相談)とPA2(発表)の録画を見て、自分で評価してください。(「自己評価」に✓を入れましょう)。

●個人評価(12点) ※一人で評価してください。

PA①(企画案について相談してアドバイスをもらう)

	とてもよくできた。すごい!(12点)	できた!OK(8点)	あまりできなかった。次はがんばろう(4点)
企画案について ビジターに 積極的に相談 できる。	企画案を説明したり、 たくさん質問をした り、アドバイスを求め たりして、積極的に 相談した。	まあまあ積極的に 相談した。	あまり積極的に相談し なかつた。
自己評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
教師の評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●グループ評価(24点)

※グループで話し合って評価してください。(同じ評価を「自グループの評価」に入れてください)

PA②(発表)

①アプリについて(12点)	とてもよくできた。 すごい!	できた! OK (2点)	あまりできなかつた。次はがんばろう(1点)
人々の生活や社会の役に立つか			
自グループの評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
教師の評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

現実的か(今の技術で作れそうか。続ける方法など)				
※アプリを作るお金については考えなくていいです。				
	自グループの評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	教師の評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
似ているアプリ(もの)とちがう点があるか。それより良いアプリといえるか。				
	自グループの評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	教師の評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
多くのユーザーに使ってもらえそうか。				
(使いやすいか。わかりやすいか。今のユーザーが、もっと使いたくなるような工夫があるか。アプリを多くの人に知ってもらうための工夫があるか、など)				
	自グループの評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	教師の評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

②発表のパフォーマンス(15点)	とてもよくできた。すごい!(3点)	できた!OK(2点)	あまりできなかつた。次はがんばろう(1点)
アプリについて、詳しく、わかりやすく説明できる(スライドも含む)。			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	教師の評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリが解決する社会問題や生活の不便さなどについて、詳しく説明できる。			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	教師の評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
発表の表現を使って、正しい日本語で発表できる。			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	教師の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
質問に、詳しく答えることができる。			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	教師の評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. PAで、よくできたこと、**むずかしかったこと**、わからなかつたこと、気づいたこと、これからもっとがんばりたいこと、などを書きましょう。※ここからは、一人で書いてください。

●よくできたこと

●難しかったこと

●気づいたこと

●これから、もっとがんばりたいと思ったこと(次の目標)

●その他のコメント

4. インタビューで、ビジターがアドバイスしてくれたときや、アドバイスのために意見を言ってくれたとき、「～たほうがいい（です）」以外に、どんな表現を使っていましたか。アドバイスするときに、使える表現を探してみましょう。

例：^{ゆうりょう}有料プランもあったら、いいんじゃない？

5. アドバイスの表現以外に、ビジターが使っていた表現で、自分も使いたい表現を書きましょう。

*参考: TABETE

<https://tabete.me/> 最終閲覧日 2022年2月20日

資料：「4.ことば」の解答

- ①f.無料
- ②c.検索
- ③a.画面
- ④b.選択肢
- ⑤e.ユーザー
- ⑥g.広告
- ⑦d.貢献